

Umbrellaソフトウェアのインストールとアプリケーションの制限について

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[ソフトウェアアプリケーション制御](#)

[特殊なケース：macOS Umbrellaローミングクライアント](#)

はじめに

このドキュメントでは、アプリケーション制御ソフトウェアの使用中にCisco Umbrellaソフトウェアのインストールで完全な障害が発生する場合について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Umbrellaローミングクライアント
- Umbrella ADコネクタ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

この記事は、アプリケーション制御ソフトウェアの使用中にソフトウェアのインストールが完全に失敗したUmbrellaソフトウェアのインストールを対象としています。影響を受ける可能性のある包括ソフトウェアは次のとおりです。

- Umbrellaローミングクライアント

- Umbrella ADコネクタ

アプリケーション制限ソフトウェアの例：

- Microsoft AppLocker
- ホワイトクラウドセキュリティ

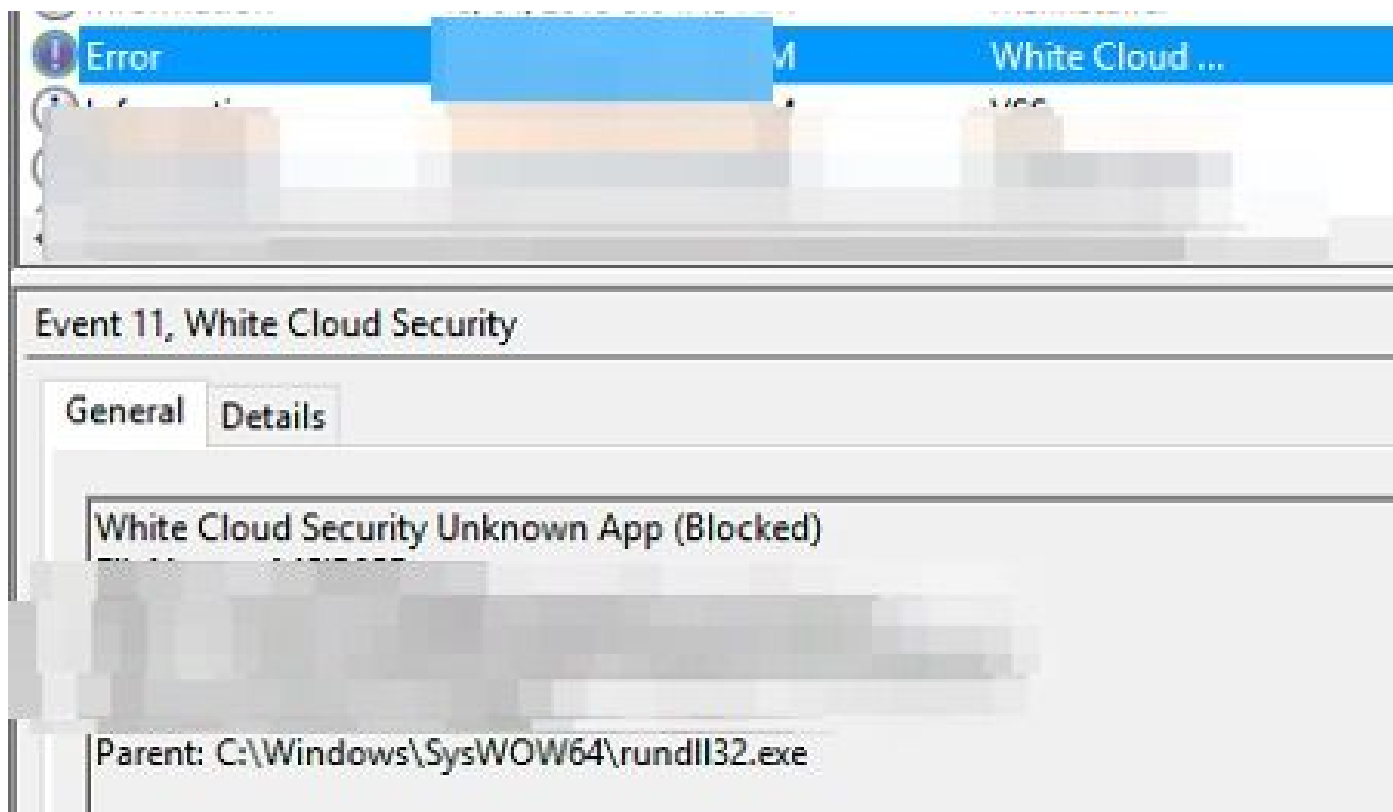
このクラスのソフトウェアを使用する場合は、この記事の詳細を参照してください。

ソフトウェアアプリケーション制御

Cisco Umbrellaでは、ソフトウェアをインストールするためにアクセス権が必要です。アプリケーション制御の一般的な症状には、インストーラの完了の失敗、ソフトウェアのアンインストールの失敗、ソフトウェアのアップデートの実行の失敗などがあります。導入するUmbrellaソフトウェアが導入可能であることを確認してください。

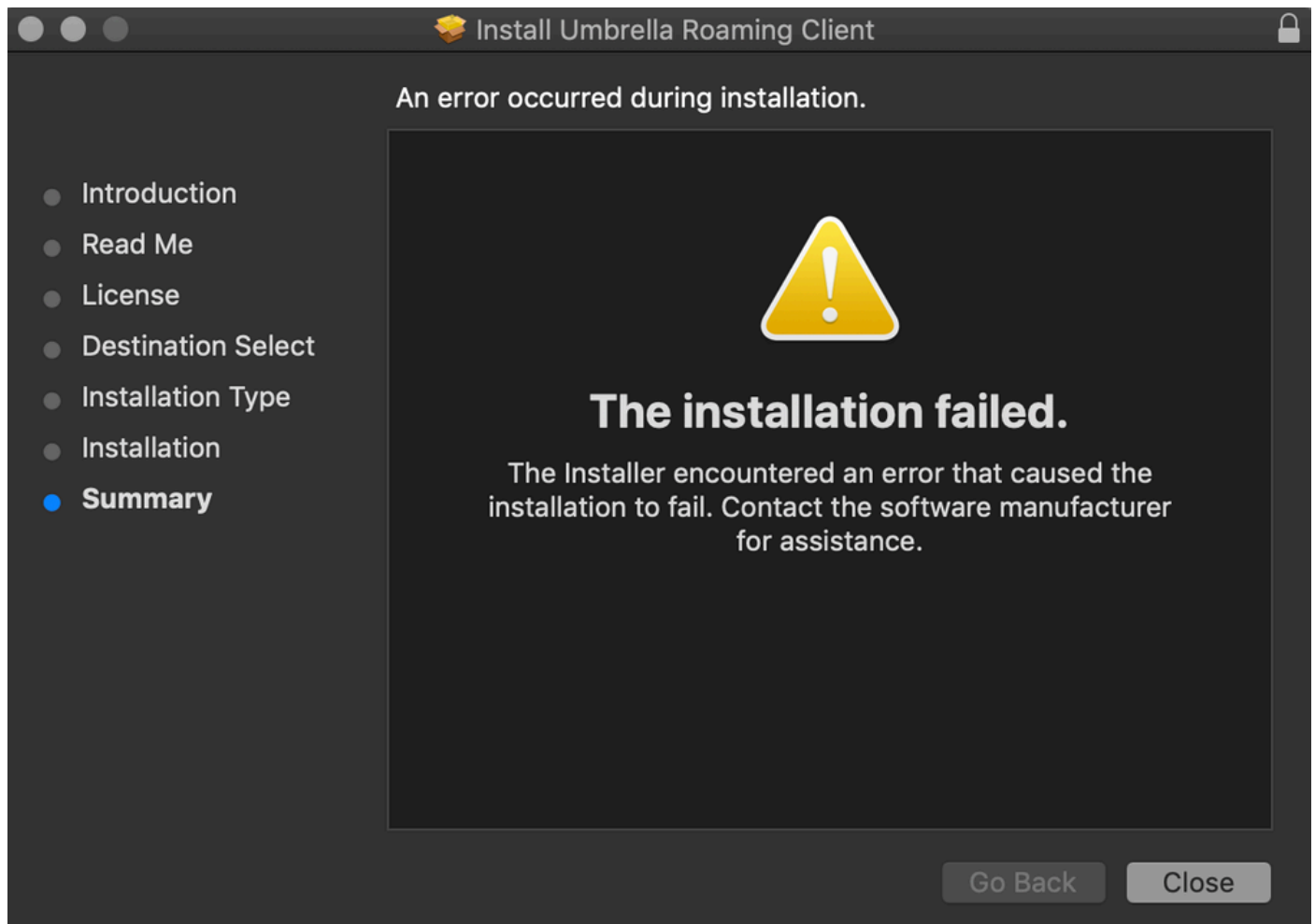
アプリケーション制限または制御ソフトウェアを使用する場合は、このソフトウェアを無効にすることで展開の問題が解決するかどうかを確認してください。その場合は、Cisco Umbrellaソフトウェアが正しく許可されていることを確認します。どちらのソフトウェアタイプも、Windows上でシステムユーザサービスを使用します。

次に、ローミングクライアントのトラブルシューティングを行う際に、ソフトウェアの該当するロギング機能を有効にします。このロギングはデフォルトで無効にできます。Umbrella AD ConnectorのインストールをブロックするWhite Cloud Securityソフトウェアからのイベントビューアのログでブロックされるアプリケーションのインストール例は、次の図を参照してください。



特殊なケース：macOS Umbrellaローミングクライアント

macOSでは、OrgInfo.plistコンフィギュレーションファイルなどのインストールパラメータが渡されない場合、インストーラが常にエラーをスローする特別なケースがあります。このエラーは、インストーラにパラメータが渡されない場合に発生します。完全な手順については、『[Umbrella deployment guide](#)』を参照してください。



翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。